見通し・振り返りシート　２部３章２節 東アジアの動向と武家政権の変容　　年　組　番 / 名前

節の問い　**京都に移った武家政権は、国内外の情勢が不安定ななかで、どのように支配体制を整えていったのだろうか。**

１項　モンゴル襲来と社会の変容 p.106-110	**２項　朝廷の分立と室町幕府** p.111-115	**３項　東アジアの国際秩序と倭寇** p.116-119
【項の課題】モンゴル襲来は、鎌倉政府の衰退にどのように影響したのだろうか。	【項の課題】朝廷が二つに分裂するなかで、室町幕府は、どのように権力を確立したのだろうか。	【項の課題】明が海禁政策をとったにもかかわらず、なぜ東アジアでは交易が活発になったのだろうか。
【１項の振り返り】項の課題に答えよう。	【２項の振り返り】項の課題に答えよう。	【３項の振り返り】項の課題に答えよう。

【２節の振り返り】京都に移った武家政権は、国内外の情勢が不安定ななかで、どのように支配体制を整えていったのだろうか、あなたの考えを説明しよう。	（知・技） 評価：	（思・判・表） 評価：	（主） 評価：

【仮説の再確認】あなたが２章で表現した「中世の特色の仮説」を再確認しよう。２節での学習内容を振り返り、何か考えたことがあれば、自由に書き出そう。	指導者コメント欄

※評価は２ページ目のルーブリックを活用しよう。

見通し・振り返りシート　２部３章2節 東アジアの動向と武家政権の変容　ルーブリック評価表

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の三つの観点について、次の基準を参考に自己評価してみよう。

	「知識・技能」の観点	「思考・判断・表現」の観点	「主体的に学習に取り組む態度」の観点
十分に到達できている（A）	東アジアの動向と武家政権の変容について、資料や本文から読み取り、十分に理解できた。	京都に移った武家政権は、国内外の情勢が不安定ななかで、どのように支配体制を整えていったのかについて考察し、根拠に基づいてみずからの言葉で見解を表現できた。	自身の「探究する問い」と「先史・古代の特色の仮説」について、主体的に追究・検証しようとした。
一部は到達できている（B）	東アジアの動向と武家政権の変容について、資料や本文から読み取り、おおむね理解できた。	京都に移った武家政権は、国内外の情勢が不安定ななかで、どのように支配体制を整えていったのかについて、一部については考察し、みずからの言葉で見解を表現できた。	自身の「探究する問い」と「先史・古代の特色の仮説」について、主体的ではないが、追究・検証する気持ちをもつことができた。
到達に努力を要する（C）	東アジアの動向と武家政権の変容について、資料や本文から読み取れず、理解できなかった。	京都に移った武家政権は、国内外の情勢が不安定ななかで、どのように支配体制を整えていったのかについて考察できず、見解を表現できなかった。	自身の「探究する問い」と「先史・古代の特色の仮説」について、追究・検証しようとしなかった。